## 全国高等学校ビブリオバトル２０２３鳥取県大会の開催結果について

### １　概要

〇本を主体としたコミュニケーションゲームであるビブリオバトルを通じて、高校生の表現力・コミュニケーション能力の養成と読書への関心を高め合う新たな読書活動推進の場の提供を目的として毎年開催（今回で７回目）

〇県内の高等学校８校（13 名）の高校生が出場（昨年度は 10 校 10 名）

〇湯梨浜学園高等学校からの出場者が紹介した本がチャンプ本に選ばれ、東京で開催される全国大会（令和６年１月 28 日）に出場予定

### ２　日時　令和５年 12 月 10 日（日）　午後１時から午後３時 30 分まで

### ３　会場　倉吉体育文化会館　大研修室他

### ４　発表本

| 会場 | 発表順 | 発表本（タイトル / 著者名・出版者名） | 決勝進出本 | 発表者所属 |
|---|---|---|---|---|
| 予選① | 1 | 『その本は』（又吉直樹、ヨシタケシンスケ/著・ポプラ社） | | 米子東高校 |
| | 2 | 『むかしむかしあるところに、やっぱり死体がありました』（青柳碧人/著・双葉社） | | 倉吉東高校 |
| | 3 | 『ツナグ』（辻村深月/著・新潮社） | | 鳥取西高校 |
| | 4 | 『最後の晩ごはん　ふるさととだし巻き卵』（椹野道流/著・KADOKAWA） | 〇 | 鳥取工業高校 |
| 予選② | 1 | 『子どもたちは夜と遊ぶ　上・下』（辻村深月/著・講談社） | | 鳥取東高校 |
| | 2 | 『アンネの日記』（アンネ・フランク/著・文藝春秋） | | 青翔開智高校 |
| | 3 | 『レーエンデ国物語』（多崎礼/著・講談社） | | 倉吉西高校 |
| | 4 | 『１５歳のテロリスト』（松村涼哉/著・KADOKAWA） | 〇 | 湯梨浜学園高校 |
| | 5 | 『片想い』（東野圭吾/著・文藝春秋） | | 鳥取工業高校 |
| 予選③ | 1 | 『沖晴くんの涙を殺して』（額賀澪/著・双葉社） | | 鳥取西高校 |
| | 2 | 『みとりねこ』（有川ひろ/著・講談社） | | 倉吉西高校 |
| | 3 | 『硝子の塔の殺人』（知念実希人/著・実業之日本社） | | 湯梨浜学園高校 |
| | 4 | 『二木先生』（夏木志朋/著・ポプラ社） | 〇 | 鳥取東高校 |

| 会場 | 発表順 | 発表本（タイトル / 著者名．出版者名） | チャンプ本 | 発表者所属 |
|---|---|---|---|---|
| 決勝 | A | 『最後の晩ごはん　ふるさととだし巻き卵』<br>（椹野道流/著・KADOKAWA） | | 鳥取工業高校 |
| | B | 『１５歳のテロリスト』<br>（松村涼哉/著・KADOKAWA） | ◎ | 湯梨浜学園高校 |
| | C | 『二木先生』（夏木志朋/著・ポプラ社） | | 鳥取東高校 |

## ５　所感

今年度は、出場者数の制限がなくなったため、２名出場する学校が複数あった。体調不良により急遽欠席となった学校があったこともあり、昨年度より参加校数は減ったが、校内予選を勝ち抜いて参加した生徒も多く、熱のこもった発表が繰り広げられた。参加者からは「本の登場人物を通して自分の意見や考えを前進させ、学び等が感じられる発表だった」、「『読んでみてほしい』という気持ちが伝わってきた」などの感想が寄せられた。今後も高校生の読書推進の契機となるよう継続して開催するとともに、参加校の増加を図っていきたい。

## ６　当日の様子

**【チャンプ本発表者の声】**

いろいろな人に本の魅力や、いろいろな本があることを伝えたいです。優勝目指してがんばります。